

キッズだより



令和6年5月 第26号
たかといちどいキッズ



子は親の鏡

「けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる」

「子どもが育つ魔法の言葉」という本に載っている言葉です。私は、保育士になりたての研修で、この本に出会いました。その時は読んでみたいと購入したのですが、なかなかページが進まず、意味もすこし理解できず、本棚の奥底に追いやることになりました。そしてその本の存在を忘れ…約20が年経ちました。なぜ思い出したのかと言いますと、6年前、クラス懇談会の話題をさがしている時に、前園長の上野が、「この言葉知っている？」と『子は親の鏡』と書かれている紙を手渡してくれました。読んでみると納得できる言葉がたくさん書かれていました。その話を主任の岡本とした際「子どもが育つ魔法の言葉っていう本だよね。もしよかったら貸してあげるよ。」と借りることに。そして表紙を見て、どこかで見た本だなと本棚を漁ると、出てきました。再会を果たした本を開いてみると、すらすらとページが進みます。意味も分かりやすく、あっという間に読み終わりました。きっと保育園で子どもと関わるうちに、分からなかった意味が経験を通して分かるようになったのだと思います。親目線で書かれている本ですが、保育士にも置き換えられるなと思いました。なぜ長々とこの話をしているのかと言いますと、今まではこのページはわらべうたの紹介をしていたのですが、そろそろネタ切れになり、どうしようかと思っていたところ、この本が目に入ったからです。少しずつでもこの言葉を共有したいなと思います。知っている方もいるかもしれませんが、お付き合いよろしくお願ひします。

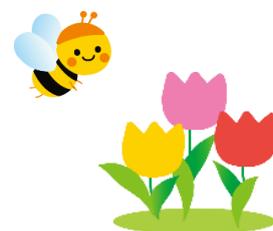
あらためて「けなす」という言葉の意味を調べてみました。「悪く言う、悪口を言う」という意味でした。「けなされて育つ」とは、いつも何をしても叱られたりきつい言葉で言われたりしながら育っていくことです。でも親が子どもを叱る時は、たいてい、子どものためとと思っていることだと思います。子どもは、叱られてばかりだと、自分が悪い子だと思ってしまいます。上手な叱り方は、まず話を聞くことです。子どもの反応をみて、行動を正すような言葉を選ぶようにすると、子どもはなぜダメだったのかを考えます。その繰り返しの経験をすることで自己肯定感が育まれていくのだと思います。保育園でも子どもの気持ちを受け止め、一つひとつ丁寧に伝えていくようにしていきます。

今月は親子遠足があります。去年は、雨で室内の開催になりました。晴れたら須磨離宮公園、雨なら室内での開催になります。どちらも親子で楽しめるプログラムになるように考えています。

北坂 美知子

5月の予定

誕生会	8日(水)	避難訓練	14日(火)
救急訓練	17日(金)	発育測定	22日(水)
親子遠足	24日(金)	避難訓練	28日(火)





あひる・ひかり・ひまわり



一人ひとりとゆったり関わったり、優しく歌いかけたりしたことで新しい環境に慣れ笑顔が見られるようになってきました。音が出る玩具に興味を示し、保育士が振って音を鳴らすと「あー」「うー」などと喃語を発し嬉しそうにしています。また、保育士が電車を繋げて走らせると動いていく様子を見ながら喜んでいきます。これからも子どもたちが好きな遊びを十分に楽しめるよう関わっていきたいと思います。

食材を手で掴み、感触を楽しんでいます。「おいしいね」「もぐもぐしようね」など声をかけ、楽しい雰囲気の中で安心して食事ができるようにしていきます。



今月のねらい：保育士の傍で安心して食事をする

なにしてあそぼうかな？



ひかり・ひまわり



新しい環境への不安からか初めは泣いていた子どもたち。気分転換ができるよう散歩に出掛け、「ポカポカするね」「気持ち良いね」と声を掛けると楽しんでいました。保育士と一緒に遊ぶ中でお気に入りの玩具を見つけて何度も遊び、少しずつ園生活にも慣れ、笑顔を見せてくれるようになりました。一人ひとりの興味のある遊びを一緒にしたり、スキンシップをとったりして安定して過ごせるように援助していきます。

今月も天気の良い日は散歩に出掛け、様々な自然にふれながら探索活動を楽しめるように関わっていきます。



やってみよう！



フー！

今月のねらい：散歩に出掛け、探索活動を楽しむ



ひかり・ひまわり



保育室では、好きな玩具を見つけて遊んでいる子どもたち。特にままごとが大好きです。何を作っているか問いかけると、「おべんとうつくった！」「だいこんはいっているよ」など、様々な答えが返ってきます。作った料理を「熱々だね」「甘くて美味しいね」と言いながら食べる真似をすると、子どもたちは「ふーふー」と冷ましてくれたり、「おいしいね」とやり取りを喜んだりしています。様々な料理の写真を壁に貼ったり、一緒に料理を作ったりすることで、子どもたちの想像を広げ、ままごとで表現することを楽しめるようにしていきます。

園での食事にも慣れ、毎日美味しそうに食べています。食べ物の名前を伝えたり、たくさん話しかけたりすることで、食べ物に興味をもって楽しく食事できるようにしていきます。



ソースを
かけます



はい！
どうぞ



ぐつぐつ…
あついよ



じょうずに
きれるよ！

今月のねらい：食べ物に興味をもち、楽しく食事をする



12月



天気の良い日は散歩に出掛け、自然に触れることを楽しみました。保育士がチューリップを見つけ「赤いチューリップだよ」と声をかけると「あかだね、きいろだね」など、楽しく会話していました。保育士がシロツメクサで指輪を作ったり、カラスノエンドウを渡したりすると、「いらっしやいませ」「まめください」と、やりとりしながらごっこ遊びを楽しんでいました。引き続き自然に触れながら言葉のやりとりができるように仲立ちしていきます。

戸外から帰ってきた時や食事前など、「手を洗おうね」と声を掛けると手洗い場に向かう子どもたち。丁寧な手洗いが身に付くように、保育士と一緒に手を洗っていきます。



まめ
ください

おはな
どうぞ



きいろ
もあるね



今月のねらい：保育士と一緒に丁寧に手を洗う



《新しくやってみたいこと》

皆さんは、挑戦してみたいこと、もしくはやってみたいことはありますか。私は新生活が始まったこの機会にピラティスを始めてみたいと思っています。主な理由は体を動かすことが好きだからです。体を動かすと、ストレスを解消させるためのホルモンが分泌されます。そのホルモンが心を安定させる働きを持っていて「セロトニン」や「エンドルフィン」というホルモンになります。セロトニンは精神の安定や安心感、頭の回転をよくしてくれるなどの効果があります。他にも睡眠の質が高まる、健康増進、体力向上、などなど運動することで良いことがたくさんあります。

最近では運動ができておらず、通勤時に歩くことやお風呂上がりのストレッチくらいでしか体を動かせていません。そこで運動できる場所に行き、体を動かそう！と考えピラティスに行ってみたいと思うようになりました。ピラティスはインナーマッスルや体幹を鍛えて、体の内側から健康的に鍛えることが目的とされています。体を動かし内側から自分の理想の体型に近づけるなんて一石二鳥だ！と思ったからです。

新生活でまだ慣れず、今は運動よりも仕事・睡眠・家事を優先してしまう私ですが、今の生活にも慣れ心にも体力的にも余裕が出てきたら（いつになるかわかりませんが…）必ずピラティスに通いたいです。そして、健康的な美ボディを手に入れたいと思います。皆さんも新年度が始まったこの機会にやってみたいこと、挑戦してみたいことを始めてみてはいかがでしょうか。



乾 光恵